

日本バドミントン学会第2回（2019年度）研究会を下記の通り開催致します。
多数の皆さまのご参加をお待ちしております。

開催概要

日時：2019年12月15日（日）13：00～17：00

場所：東洋大学 朝霞キャンパス 講義棟 306 教室（警備室のある建物の3階です）

アクセス：東武東上線「朝霞台」または JR 武蔵野線「北朝霞」から徒歩10分程度。

<https://www.toyo.ac.jp/ja-JP/about/access/asaka/>

※駐車場は利用することができません。お車でお越しの際には近隣の駐車場をご利用ください。

参加費：正会員：1,000円、非会員：2,000円、学生：無料（学生証をご用意ください）

プログラム

【話題提供】と【大学院生や卒論生による発表2題程度】を企画しております。

【話題提供】につきましてはコーチング学・トレーニング学をご専門とする伊藤浩志先生とスポーツマーケティングをご専門とする山下玲先生より、「する・教える」「みる」「支える」という実践活動と最新の研究動向を関連づけてお話しいただく予定です。いずれも「実際にどう活用するか」という実践を強く意識してご講演いただく予定です。日頃研究等に従事していないがコーチをしている方、スポーツイベントのボランティアに興味のある方等々、さまざまな方にご参加いただき議論できると幸いです。

【大学院生や卒論生による発表】では若手の会員が「いま興味あること」「バドミントン界やスポーツ界への夢」などを紹介していただく予定です。ご発表いただく方には自由な発想でご発表いただき、互いにざっくばらんに話し合うことができたらと考えています（研究会世話人・金子元彦）

【話題提供】

①『スポーツ情報の活用例の紹介 - スマートウォッチの活用したコンディショニングなど』

伊藤 浩志《元国立スポーツ科学センター研究員。現在、公財）日本水泳連盟アーティスティックスイミング委員会委員、公財）日本オリンピック委員会医科学強化スタッフ》

《講演目次》

- ・ウェアラブルセンサーの最新動向＝何が、どうやって、どこまで計れるか
- ・センサー計測値の仕組み(機械学習)＝利用上の留意
- ・ウェアラブル機器によるトレーニングモニタリング
基本：メーカー提供データ利用
応用：独自アルゴリズムによる評価
- ・今後の可能性
センサーの進化
アルゴリズムの進化＝コーチング AI 化
(コンディション推定、メニュー生成、技術・戦術評価&生成)

②『バドミントン界を盛り上げるために一スポーツマーケティングからの接近ー』

山下玲《東洋大学ライフデザイン学部健康スポーツ学科助教。スポーツマーケティング・スポーツマネジメント》

《講演概要》

バドミントンに限らず、あるスポーツを「盛り上げる」「盛り上げたい」という時、さまざまな人にとってのさまざまな「盛り上がり方」があるのだろうと思われます。それらが集結して、結果的にそのスポーツに活気を帯びていく状況が生まれると望ましいと考えられます。とはいえ、やみくもに「盛り上げる方策」を仕掛けてみても事態は思うように好転しません。そこにスポーツマーケティングの視点や知見が貢献できるかもしれません。演者が車いすバスケットボールについて調査した事例などを交えながらさまざまな情報提供できればと考えています。

【大学院生や卒論生による発表（会員に限る）】

①『バドミントンにおける内的注意焦点の違いがサービス動作に与える影響』（仮）

佐藤 優希《法政大学大学院修士課程スポーツ健康学研究科 1年》

修士論文のための研究構想および計画の発表と質疑。

大学院生や卒論生による発表を2題程度、準備したいと考えています。発表をご希望の方がおられましたら、金子元彦（東洋大学）：mkaneko@toyo.jpまでご連絡いただけますと幸いです。

資料準備の関係より、ご参加を希望される方は下記までご連絡いただけますと幸いです。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

日本バドミントン学会へ直接申し込む方は下記までご連絡ください。

第2回研究会世話人 金子元彦（東洋大学）：mkaneko@toyo.jp

*新たな情報や新たな発表者が決まりましたら、随時更新いたします。

研究会世話人
金子元彦（東洋大学）